

身近にある偽・誤情報に気をつけろ！

通学途中にSNSを
閲覧していると…

〇〇駅で通り魔発生！
今すぐ逃げろ！



大地震の発生直後に…

△△市の津波、マジやばい。



新型コロナウイルスが
拡大中に…

マスクと同じ原料のトイレット
ペーパーはいずれ品薄になる！



これらが偽・誤情報だったら、拡散するとどうなる？

社会の混乱を招く事態に

救命・救助活動の妨げに

お店に人がおしよせて
大パニック！

インターネット上の情報の中には、人を混乱させるためにわざと発信された「**偽情報**」や、勘違いや誤解によって拡散された「**誤情報**」が数多くあります。

特にSNSでは、表示回数を増やし収入を得ることを目的とした悪質な投稿もあり、情報の真偽を確かめることがとても重要です。

もし、これらの偽・誤情報を投稿・拡散してしまった場合、社会や経済を混乱させるばかりでなく、刑事上の処罰（相手に訴えられる等）を受けたり、民事上の責任（投稿や拡散によって受けた損害のお金を請求されるなど）を負わされたりすることがあります。

偽・誤情報に惑わされないために、次のことをきちんと確認してから正しい情報かどうかを慎重に判断するようにしましょう。

偽・誤情報を見分ける四か条

その一、発信元を確認すべし

だれが（報道機関、官公庁、個人など）、いつ発信した情報かをよく確認し、発信（投稿）した人が信頼できるかどうかをきちんと判断すること

拡散は慎重に

その二、他の情報と比較すべし

重要な事実であれば、他のメディア等でも発信している可能性が高い
他のメディアでの発信状況や他の人のコメント（指摘）等を比較すること

その三、元となる情報を確認すべし

情報を引用している場合やうわさ話は、元となる情報が加工・改造されている可能性があるため、必ず元となる情報を確認すること

その四、添付された画像や動画を調べるべし

その画像が過去に撮影された全く無関係なものではないか、画像検索等を行い、きちんと調べて確認すること